

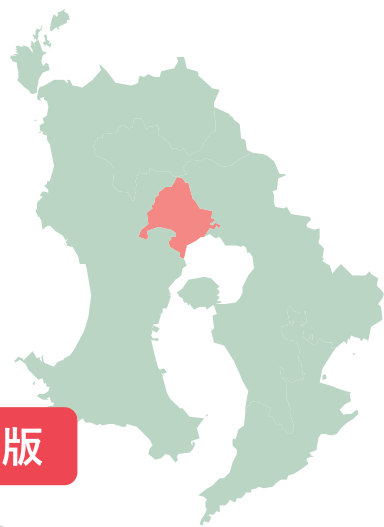
おもてなしの心あふれる、“可能性全開”のまちづくり

AIRA

第2次始良市観光おもてなし計画

概要版

～ともに磨き、創ろう 光り輝く「あいら観光」の魅力～



平成31年3月
始良市

1. 計画策定の目的・期間

この計画は、平成31年3月に策定した「第2次始良市総合計画」に基づき、産業としての観光振興による雇用の場の拡大や交流人口の獲得、定住人口確保を図り、地域の活性化を目指すため、観光事業者や行政のみならず、市民も一体となって、観光の持続的発展に取り組む上での目標や理念及び方針を示すものです。

計画期間は2019年度を初年度とし、長期的な展望も視野に入れた5か年を対象に前期2か年と後期3か年とし、2023年度を目標年次とします。

2. 始良市の観光における課題

本市の観光の現状に基づく、①観光資源、②観光環境、③情報発信・PR、④市民活動、⑤潜在的可能性の5つの視点における本市の観光の強み、弱みを踏まえ、本市の観光振興の課題を以下のとおり整理します。

課題① 観光資源の活用における課題

- 自然、歴史、文化など観光資源の磨き上げ
- 各観光資源をつなぐ仕掛けづくり
- 観光資源の整理とストーリー化

課題② 観光環境における課題

- 鹿児島・桜島地区及び霧島地区からの誘客
- 広域交流拠点としての可能性の検討
- 外国人観光客の受入態勢の整備

課題③ 観光情報の発信における課題

- 「あいら観光」のシンボル化及びブランドイメージ構築
- 観光動機を刺激する観光客の志向・ニーズに応じた情報発信
- 外国人観光客のニーズの研究及び効果的な情報発信

課題④ 市民活動に関する課題

- 市民主体の観光ガイドや都市農村交流等の積極的な利活用
- 地区コミュニティ協議会による取組の支援

課題⑤ 経済効果における課題

- 市内観光における時間消費に対応できる魅力づくり
- 商・農・工と観光分野との密接な連携
- 商品開発・料理開発をはじめとした地域ブランドづくり

3. 始良市の観光の目指すべき姿及び基本方針・基本施策

「ひとりひとりが主役 住みよい県央都市」の実現に向けて、市民の一人ひとりのおもてなしの心があふれ、各地域に存在するありのままの「あいら」の素材を光り輝かせる観光都市を市民と協働して創り上げていくことを目指し、本計画の基本理念を次のとおり掲げ、これを具現化するための4つの基本方針と9つの施策を掲げます。

基本理念

おもてなしの心あふれる、“可能性全開”のまちづくり

～ともに磨き、創ろう 光り輝く「あいら観光」の魅力～

基本方針 1

始良市の「宝物」を観て、体感してもらう

既存の観光資源の個性を際立たせることで多様な素材に磨きをかけ、市内に点在する資源をつなぐことにより、普段得ることのできない時間や空間を提供し、人を外から惹きつける魅力の向上を図ります。

基本方針 2

市民が活躍できる仕組み・場を創る

「人」に焦点を当て、活動者の多様な思いを共有する仕組みを創るとともに、市民一人ひとりが観光振興に参画できる場を創ります。また、地域との連携を図り、認識を共有し、協働できる体制を創ります。

基本方針 3

戦略的な情報提供と広域連携を行う

情報の一元化を図った上で、多様なツールや既存メディアを活用し、ターゲットに応じた情報発信を行います。また、広域連携やテーマ別連携の際の本市の立ち位置を明確にした上で、メニューづくりやPRを行います。

基本方針 4

観光関連事業者等の育成と連携を促す

本市における観光関連事業者等の育成を図り、地域経済に波及効果をもたらすことができるよう連携を図ります。既存の支援事業についてはその効果を検証し、主体的、持続的な活動となるよう促進します。

基本方針 1 始良市の「宝物」を観て、体感してもらう

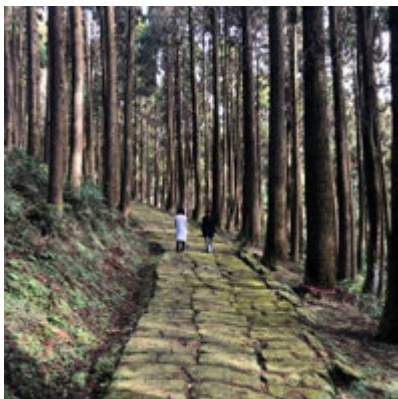
(1)観光メニュー・プログラムづくり

①本市の資源を活かした多様な観光メニューづくり

- 市内をめぐる観光ルートの作成（スマートインターチェンジやＪＲ駅を起点とした観光ルートづくりなど）
- 歴史・自然等を活かした観光イベント（島津義弘公没後４００年、伝統芸能等）の企画実施
- 自然体験メニュー（海、山、川、農業等）の開発・実施
- 癒し体験、パワースポット巡りメニューの実施
- 市内のお店巡りプランの実施、活用

②観光資源・施設の魅力づくり

- 国、県、市指定文化財の観光地としての整備
- 民俗文化財の公開と活用
- 蒲生麓などの歴史的なまちなみの景観の保全
- 桜島・錦江湾ジオパークの取組（ツアー、イベント、体験プログラムの取組、世界ジオパーク認定に向けた取組など）
- 霧島錦江湾国立公園（重富海岸等）の保全と活用
- 観光スポットとなる自然の保全



(2)観光イベント・PR イベントの企画実施

①本市の資源を売り出す企画・イベントの実施

- 「歩こうよ！ あいら」の企画、実施、定着化
- 始良市花火大会への継続的な支援
- 話題性、インパクトのある新たなイベントの企画
- あいらびゅう号の活用とあり方の検討
- 食をテーマとした物産展の企画開催
- 始良ばあちゃんすい一つの企画、情報発信、定着化
- 桜島サービスエリアの情報発信拠点としての活用

②新たな観光素材による体験型観光の推進

- ニューツーリズム・着地型観光の維持・強化
- 新たな素材の活用、体験型メニューの創出



(3)地域資源周辺の環境整備

①観光情報発信拠点の整備

- 地域の中心となる観光施設の拠点機能の強化
- 各種スポーツ大会や合宿・コンベンション等の誘致促進
- バリアフリー観光の推進
- 無料公衆無線 LAN の整備促進など外国人等に配慮した受入環境の整備

②魅力ある観光地形成のための周辺施設整備

- 観光資源周辺におけるアクセス道路、遊歩道、トイレ、駐車場等の整備、バリアフリー化の推進
- 整備が検討されている駅前広場への観光案内サイン等の整備

基本方針 2 市民が活躍できる仕組み・場を創る

(4)人、組織をつなぐ体制づくり

①観光受け入れ体制づくり

- 観光関係団体の主体的活動の促進
- 各主体の活動情報を共有する仕組みの構築（PRイベント企画立案検討会など）
- 観光協会の自立的活動の促進
- 観光ガイド組織の連携体制の構築
- 新たな観光推進組織の構築

②始良市の観光振興を担う人材の確保・育成

- 地域の祭り・イベント、郷土芸能の継承（無形民俗文化財保存会への助成、後継者の育成など）
- 観光ガイド養成講座の開催
- 「あいら観光大使」によるPR活動の実施

(5)市民、地域の取組の維持、強化

①各地域の体制強化と魅力の向上

- 観光振興に寄与する市民活動の支援、市民と行政の協働体制の強化
- 自治会ごとの清掃、植栽、花植え等による観光資源周辺のきれいな景観づくりの促進

②市民主体のおもてなしの促進

- 観光資源管理のための市民参画組織の構築
- おもてなし講習会の開催



基本方針 3 戦略的な情報提供と広域連携を行う

(6)情報発信手法の多様化とメディアの活用

①情報発信・共有の仕組みづくり

- 本市の観光WEBサイトの強化、情報の一元化
- 始良市公式観光案内アプリ「ココシルあいら鹿児島」のさらなる活用・更新
- SNS等の活用によるリアルタイムに情報発信できる仕組みの構築
- 観光情報の一元化に向けた観光施設・事業者間の情報共有の仕組みの構築
- 市内の主要施設（JR各駅、桜島サービスエリア等）における観光案内の強化
- 市外の主要施設（JR鹿児島中央駅、鹿児島空港、九州自動車道SA等）における観光PRの強化

②メディアの活用による始良市のPR

- イベント情報の効果的な発信
- 全国の旅行雑誌、旅行会社、鹿児島県内の情報誌等への売り込み強化

(7)広域での観光連携の強化

①広域連携メニューづくり

- 錦江湾まるごと体験（国立公園、ジオパーク等）の企画、実施
- JR鹿児島中央駅や鹿児島空港を起点とした観光ツアーの企画、実施
- 島津義弘公顕彰事業の広域的な取組（三州同盟会議）

②広域連携体制の維持、強化

- 周辺市町との広域連携体制の強化（始良・伊佐地域観光連絡協議会、錦江湾奥会議等）
- 広域連携情報の集約、発信
- 鹿児島県観光連盟等の関係機関・団体との連携強化

基本方針 4

観光関連事業者等の育成と連携を促す

(8)観光関連事業者等との連携強化・育成

①観光関連事業者等との連携強化

- 観光協会や特産品協会、商工会等の観光関係団体の自立的活動の促進
- 企業との連携（ウォーキングイベントでのＪＲやスポーツメーカーとのタイアップ等）
- 民間の交通機関（ＪＲ、バス、タクシー等）と連携したツアー企画、実施

②観光関連事業者等の育成

- 本市の特産品、お土産等を販売する店舗の育成
- 本市の特産品や食の開発のための担い手の確保、育成のための支援
- 観光関連事業従事者のおもてなし講座の開催
- 観光施設管理者（指定管理者等）の意識啓発、施設の運営強化



(9)地域経済活性化の促進

- 本市の特産品の開発（６次産業化の推進）
有機栽培の農産品及び農家のＰＲ、ブランド化
- 既存の物産館の充実、強化
- 生産者と加工業者、販売店舗、飲食店との接点をつくる異業種交流会の開催
- 旅館・ホテル等の宿泊施設の誘致
- 既存の宿泊施設の活用促進
- 「カモコレ」の取組継続（新たなメニューの開発、持続可能な財源の確保など）



4. 始良市の観光振興の重点プロジェクト

「多様な観光メニューづくり」「観光イベントの企画、開催」という2つの視点から、各施策分野を越えて今後5か年で重点的に実施する事業を、重点プロジェクトとして位置づけます。

重点プロジェクト

- ① 多様な観光メニューづくり
- ② 観光イベントの企画、開催

重点プロジェクト1

多様な観光メニューづくり

(1)“歴史”を楽しむ観光の推進

①白銀坂、龍門司坂、掛橋坂の観光商品化

大河ドラマ「西郷どん」のロケ地になった龍門司坂と掛橋坂、歴史国道である白銀坂の3坂には、それぞれを通過点とするウォーキングコースが整備されています。今後は、観光商品として付加価値を高め、一過性ではなく長期的に誘客できる観光スポットとしていく必要があります。

そのため、温泉など周辺の観光資源と組み合わせることなどによって、さらなる充実、利活用を図ります。

②蒲生の麓の街並みの整備、活用

蒲生麓地区は立派な武家門や生垣が多く残り、ノスタルジックな集落が残った風情のある街並みです。蒲生八幡神社境内に立つ日本一の巨樹「蒲生の大クス」、蒲生観光交流センター、体験型のイベント・講座の「カモコレ」もあり、来訪者が多い地域です。

今後とも、麓の文化を守り育てながら、観光資源として活用していく取組を進めていきます。

(2)“食”を楽しむ観光の推進

本市は有機野菜の生産が盛んですが、未だその魅力の全てが伝えきれていないものが多く存在することから、“食”のまちをアピールするため、生産者や食品製造事業者と連携し、産業観光へ取り組む体制を整備していきます。

また、観光ルートの整備により滞在性・周遊性を高める取組をさらに魅力的なものとするため、飲食・物販店との連携や特典付きの商店街ツアーなど、まちなかの歴史・文化施設と商店街の共同事業を検討していきます。

(3)“体験”を楽しむ観光の推進

本市の魅力ある観光要素を、テーマや目的により結ぶことで、滞在性や周遊性を向上させる取組として、体験型観光を推進していきます。

また、民間主導で進められているエコツーリズムやグリーン・ツーリズム、蒲生地域で取り組んでいる「カモコレ」等の既存のニューツーリズム・着地型観光の取組を今後も維持できるように支援するとともに、新たな観光素材の掘り起こし・活用や健康・美容要素との組み合わせなどによる魅力あるメニューの創出や他地域への取組の拡大を図ります。

重点プロジェクト2

観光イベントの企画、開催

(1) 記念イベントの開催

市民が地域に住んでよかったと感じる魅力ある取組や観光客が訪れてよかったと感じることのできる観光を目指すことが求められています。

2020年に市制施行10周年を迎え、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」も同時期に開催されます。また、2019年には島津義弘公没後400年を迎えることになることから、本市の歴史・文化、自然環境を体感し、本市の魅力を再発見できる記念イベントを企画、実施します。

(3) 情報発信拠点を活用した物産展等の開催

桜島サービスエリア付近のスマートインターチェンジの供用開始後は、本市観光への誘客を促進する可能性が広がります。

そのため、本市観光情報の発信拠点である蒲生観光交流センター等において、物産展の企画開催など、観光資源のPRや特産品の販売などの取組を進めます。

同時に、「食」に携わる市内の飲食店や事業者、団体等の多様な主体が連携する動きの継続、展開を図るとともに、本市の「食」のブランド開発についても積極的に支援します。

(2) 本市の資源を売り出す企画・イベントの実施

「歩こうよ！ あいら」等の本市に点在する多様な観光資源を活用した観光に関する各種企画について、今後も継続・強化し、新たな取組や企画、各地域への取組への波及など次なる展開を図るとともに、加治木港での始良市花火大会の継続的な実施や新たな観光イベント・取組についても企画、実施します。

また、各地で行われている地域の祭りやイベントを支援し、観光資源としての価値を高めることにより、一年を通して市全体の賑わいを創出し、本市のイメージアップにもつなげていきます。



第2次始良市観光おもてなし計画

発行：始良市 企画部 商工観光課

〒899-5492 鹿児島県始良市宮島町25番地

TEL:0995-66-3111 FAX:0995-65-7112

<http://www.city.aira.lg.jp/>